

4. 藤が丘駅滞留対策について

(1) アクセス等交通に関する広報の充実

J R 中央本線・八草経由を推奨する広報の充実
方面別誘導に資するきめ細かなアクセスルート案内
自治体広報誌の有効活用
I T S による効果的な広報

(2) 平準化対策の推進

日別平準化施策（学生団体、国・自治体等職員の平日来場、混雑カレンダーの広報）
時間別平準化施策（午後來場、催事終了時間の調整、帰路交通機関の時刻等情報提供）

(3) リニモの輸送力増強対策

車両編成の増加（博覧会協会による1編成増備）
運転方法の変更による運転本数増加（普通運転 急行運転）
愛知県・愛知高速交通は急行運転の実施方法を検討中
急行運転の効果

- ・輸送力増強（11本/1時間 12本/1時間）
- ・2時間で2本の増発（バスに換算して約12台相当）
- ・藤が丘駅から万博会場駅までの所要時分の短縮（12分30秒 9分10秒）
- ・途中駅の混雑防止

(4) 滞留対策

滞留施設の建設（建設する施設の概要：別紙のとおり）

- ・日よけ・雨よけ用大屋根、トイレ、救護所、東部丘陵線乗車券発売所

最大滞留許容人数（約6,600人：東部丘陵線地下駅構内の滞留許容人数を含む）
利用者の安全・円滑な誘導を行う警備誘導計画を作成して事故防止対策を講じる
名古屋市交通局は藤が丘駅周辺からの臨時バス運行方法を検討中

(5) J R 中央本線・八草経由推奨ルートの魅力度アップ（新たな付加価値の創出）

J R 中央本線・八草経由推奨ルート企画切符造成（八草からのリニモ及びシャトルバスに対応）